

洋書輸入協会会報

VOL. 2
NO. 7

昭和43年7月

理事会報告

6月10日（月）

Sweet & Maxwell, London よりの Circular Letter に対する協会よりの抗議文の返事に対し、再度交渉することに決定。

New York 発船便による郵便物の遅延について、雑誌欠号委員会より報告。直ちに JBIA Report を以て速報すると共に、会報に掲載して関係先に報せることとする。

特別会計運営の件。総務委員会に附託。

クーラー設置の件。機種選定及び支払方法は総務委員会に附託。

価格査定及び通関に関する委員会を新設する件。

各委員会の今年度正副委員長決定。（後記）

共同外国雑誌カタログの件。雑誌資料委員会に於て詳細検討する様附託。

洋書交換委員会より合同バーゲン・セール開催の件報告。

協会本部収支計算書の検討。

丹羽関西支部長よりの報告を前島氏より説明。

6月25日（火）

クーラー購入決定。

特別会計の件。割興50万円、債券投信50万円を分割購入。以上総務委員会答申の件承認。

各種委員会の構成メンバーを、会員各社は必ずいずれかのメンバーになるという趣旨で検討。

各委員会の今年度予算の検討と決定。

Sweet & Maxwell 社への再交渉の件報告。

共同外国雑誌カタログの件につき雑誌資料委員会よりの報告検討。

New York よりの Sea Mail 遅延に関する外郵研究会の記事紹介。郵便番号制について Return Address の書き方を説明。会報に掲載することとする。

Reprint 版の新タイトルを会報に掲載したらどうかの提案あり。会報委員会において検討するよう附託。

合同バーゲン・セールを10月12～13日東京古書会館に於て開催の旨報告あり。

フランスのストによる発送遅延の件。Hachette 社からの来信を紹介。

東西合同懇親旅行会の収支報告の件。

7月2日(火)

会員全員がいずれかの委員会に参加するという趣旨により、各委員会メンバーを略決定した。

委員長		副委員長		委員		(ABC順 敬称略)		
総務	丸善洋販			中央洋書	福本書院	医学書院	紀伊国屋	北尾書籍 三品書店 内外交易
会報	紀伊国屋丸善			アカデミヤ	教文館	極東書店	メクレンブルグ	三省堂 東販
渉外PR	U.S.エシァテ イック	東光堂		ブラッシュ	エンデルレ	金星堂	日賀	竹内書店 タトル
経営研究	東光堂	U.S.エシァテ イック		中央洋書	三善洋販	オリオン	伸興通商	郁文堂
雑誌資料	日賀	国際書房		海外出版	紀伊国屋丸善	三洋出版	U.S.エシァテイック	
雑誌欠号	海外出版	三洋出版		富士洋書	医歯薬	南江堂	日賀	オリエンタル
価格査定	三洋出版	紀伊国屋		海外出版	国際書房	極東書店	丸善	欧明社
洋書交換	国際書房	海外出版		美術出版	原書店	イタリア	関東書籍	北沢本店 ナウカ
通関	丸善	紀伊国屋		アカデミヤ	海外出版	国際書房	明治書房	有隣堂
文化厚生	洋販	日賀		氷三書房	ゲーテ書房	白水社	ホンリョウ	三洋出版 U. P. S.

関西支部だより

- 6月1日 雑誌カタログ委員会開催
- 6月7日 例会開催 午後4～6時 22社出席
総会報告
書籍即売会の件
夏季「海の家」の件
米国よりの郵便物遅延の件報告
- 6月19日 「海の家」の説明会開催
期 間 7月15日～8月14日
場 所 福井県若狭和田
参加料 ￥1,000 一泊二食付 一名宛
- 6月18～22日 会員有志即売会参加(阪急百貨店)
- 6月21～22日 東西合同懇親旅行会 10社 13名参加
支部会員名簿作製につき準備カード配布

東北懇談会だより

当地の海外出版仙台支社長小松守雄氏ご転任。新支社長に金子篤氏ご就任されましたので、東北懇談会では6日午後1時より国分町レストラン・スタッグに於て歓送迎会を行いました。

洋書輸入協会才4回東西合同懇親旅行

恒例の東西合同懇親旅行は6月21・2日（金・土）と北陸路を目指した。梅雨期^{さなか}の最中で、天候も気懸だったが、夜来の雨も晴れて、東京駅10時集合、29名が新幹線で米原に向う。車窓の景観に俗塵を離れて、日頃の多忙労苦を癒して、和気霽々、談笑の裡に旅する愉悅に時の移るのを忘れる。弁当を頬ばる姿は童顔の小学生宛らだ。「特急こだま」は乗替駅米原に間もなく到着、関西勢13名の乗って来た特急雷鳥に合流、一路宿泊地片山津に向う。

先行したので、御一行の到着を待つ間に、「安宅の関」を尋ねる。途中、斎藤実盛の首洗ひの池を覗く。小松飛行場へ離着する F4 Jet 機の爆音が凄じく響く。松林の景勝を誇る片山津ゴルフ場も、斯う騒音が激しくてはと思う。日本海の色は深みを帯びて紺青だ。白い砂浜だが遠浅ではない、荒涼たる疎松林の海岸に弁慶富樫の立像がある、関跡を思い源平の昔を懐ぶ。

柴山湯の畔なる北陸グランドホテルが本夕の宿だ。宿近く海外の黒田社長三原氏を見かけ車を捨てゝ同行する。昨日は金沢泊りで「兼六園」を散策、市中での骨董屋巡りとか、堀出し物の話は聞きそびれた。

御一同到着、部屋割、浴衣に着替えて夫々くつろぐ。一番乗の筈の名古屋勢三名も遅れて着く。

栗津、山中、山代と、こゝ片山津を併せて加賀温泉郷と呼ばれる。晴天には浴場から、柴山湯^{がた}越しに白山連峯の山脈^{なみ}が眺められる由、冬場は鴨の猟場。ヘラ鮒の絶好漁場と云う。湯は三軒を流れ出て日本海に注ぐ。夕食までの一刻、三百円の割勘で乗ったモーターボート周遊による知識なり。湯に向って発展したホテル、旅館の浴場が多く、ボートが遠廻りした処は女湯だったと誰かの残念そうな声があった。

文化厚生委員長渡辺氏の名司会、理事長代理の前島氏の挨拶で、夜の宴会の幕が開いた。姪若混合地元きれいな筈どころのお杓で、黒田長老音頭による乾盃。初出席の方もあり、夫々簡単な自己紹介、引続いて芸者衆の舞踊あ

り、突如どやどやとハッピー姿の若衆が、直径二尺余胴長一間近くの大太鼓を持込んで名物いでゆ太鼓の紹介に及ぶ、日く「山中の獅子太鼓」「山代の湯の華太鼓」「芦原の九頭竜太鼓」「和倉のごじんじよ太鼓」等々。流汗淋漓の大熱演に、一同気を奮はれて聴き入る。又その曲打ち妙技にうならされる。お膳の御馳走も次々平らげ、盃も重なる程に、代ってU. S. 岡崎氏の茶目気たっぷりの進行振りで、本日紅一点の大阪事務所川畑順子審査委員長以下による採点で、会員相互の芸能コンクールとなる。盛りたくさんの賞品の用意あり、挙って参加されよ、と次々岡崎氏に引張り出されて、種々の隠し芸の披露となる。洋書輸入協会懇親会の親睦の成果将に斯の如くならざるべからず。歌謡曲、軍歌、童謡、詩吟、声色、藁の油まで百出の果て、顧問田辺氏の本更津音頭の特賞入選が決まり、一等数名に、全出演者にオール返品賞の授与式が終るに到って、宴は果てぬ。

夫々割当の部屋に引上げ、室内では麻雀組、囲碁組、ロビーの雑談。屋外組はネオンの街に名物ヌードショウの鑑賞に出掛ける。明日の天気を願って才一夜を終る。

幸いに、一同平素の精進の善さか、本日も頗る上天気、朝食後湯を背景にホテルの芝生にて記念撮影、総勢40社53名、2階にセットした愛機で、業界随一のヴェテランカメラマン、メクレンの鈴木氏苦心^{ふかん}の俯瞰撮影、出来映え、期して待つべし、本当に毎度御苦労様です。

十時過一同北日本観光バスの車中の人となる。鶯嬢北陸美人高田美恵子の説明に傾聴す。

吉崎御坊 真宗中興の祖蓮如上人が、越前布教の足場として、北潟湖畔に設けた霊跡であり、嫁おとし肉付面^うで有名なり。

東尋坊 九頭竜川の日本海に注ぐ川口、北部の三国海岸岬部にあり、火山岩に生じた柱状断崖が奇勝を成す。海面上50米前後だが尚水中20米余あり。

昔、東尋坊なる滅法腕力強烈の悪僧あり、力にまかせ我欲を押して暴れまわった。仲間の衆僧困まり果

て、あるとき絶壁の上での酒盛に誘い出し、隙をみて断崖より海中へつき落した。以来東尋坊の死んだ4月はじめは海が荒れて海難が起る、これ、波の亡霊の祟なりと信じ、おそれる様になったとか。

遊覧船にて雄島まで巡航す、海上よりの東尋坊の景観更に男性的なり、波浪平穏にて親潮の色香に暫し酔う。上陸して昼食を採る。

永平寺 禪寺の山門石柱にて聞なれ見なれた 輩酒不許入山門 に代って、両側に 杓底・残水 汲流千億人なる文句に立留まる、次々に到着の観光バスから降り立つ団体客に、危く我が一行を見失いそうになる、日本曹洞宗才一道場にして、十万坪の敷地に70余の塔頭伽藍、僧堂総て、衆僧修業の場なり。当番雲水の案内で、234 画の絵天井の大広間で仕来りだからと正座を求められ、一行緊張して殊勝げに床の間に対坐する。壁面に開祖道元禅師天童山より留学の帰途、海難に遭遇の時、観世音菩薩が蓮花弁の舟で現はれ難を救はれしと謂う。

或漂流巨海

念彼観音力

波浪不能没

千七百数十年前、道元24〜8才の頃の事なり。鶴見総持寺と共に曹洞宗大本山である。山門、法堂、仏殿、僧堂と案内される。バスに揺られた故か、庫院の説明に守護神が韋駄尊天なることより、大搦粉木に、更に精進料理の献立に興味を覚えた。靴下を通して、長々と続く廊下の磨き込まれた掃除の月念さにも厳しい修業の一半を教へられた。

本日のコースは亦「奥の細道」の芭蕉の足どりに因縁浅からぬ話も車中説明で聞かされた。芭蕉に逢へず死んだ弟子小杉一笑の墓前にて「石も動け我が泣く声は秋の風」と。

我々の旅も愈々最終コース福井に向う。今と昔、徒歩で、夏の田舎道を「あかあかと日はつれなくも秋の風」と読んだ俳の心境とは程遠いが、旅愁に似た別離の情を

こめて、終日健斗、安全運転をして呉れた運転手と篤嬢に感謝した。

午後4時特急才三加賀にて米原へ。「こだま」に乗継いで東京へ帰る。関西の人達はそのまゝ大阪へ。午後9時東京着、構内にて解散する。

後記として……特筆すべきはU.P.S.上杉氏と前橋氏に代って出席の中央洋書松井氏の没我的なお世話振りに皆様と共に深甚の謝意を表する次第なり。

43・7・10

三洋出版貿易KK

鈴木常夫記

関正明記

出席者 ABC順(略敬称)

アカデミア	平 岩	〃	関
美術出版	八 木	竹内書店	竹 内
中央洋書	松 井	東 光 堂	石 内
ゲーテ書房	村 山	U P S	上 杉
ホンリュウ	神 下	USエシアティ	山 川
医学書院	椿		
〃	大 町	関西支部	
郁文堂	橋 本	旭屋書店	和 田
海外出版	黒 田	海外書籍	北 河
〃	三 原	北尾書籍	岡 田
紀伊国屋	相 良	緑 書 房	丹 羽
〃	古 内	紀伊国屋 京都	窪 田
北沢本店	北 沢	〃 大阪	池 田
国際書房	服 部	極東書店 〃	内 藤
〃	田 畑	ナウカ 〃	清 水
教文館	後 藤	洋 販 〃	槌 田
極東書店	一 条	〃	大 倉
〃	河 部	三洋出版 〃	新 谷
丸 善	前 島	U S 〃	岡 崎
〃	稲 葉		
メクレンブルグ	鈴 木	東海地区	
明治書房	菊 地	丸 善 名古屋	佐 野
内外貿易	山 県	洋 販 〃	柳 田
南 江 堂	加 藤	U S 〃	林
ナウカ	鎌 田		
日 貿	村 山	協 会	
洋 販	渡 辺	本 部	田辺顧問
〃	栗 原		寺 久 保
オリオン	小 川	支 部	川 畑
三洋出版	鈴 木		

東西合同懇親旅行“北陸の旅”から



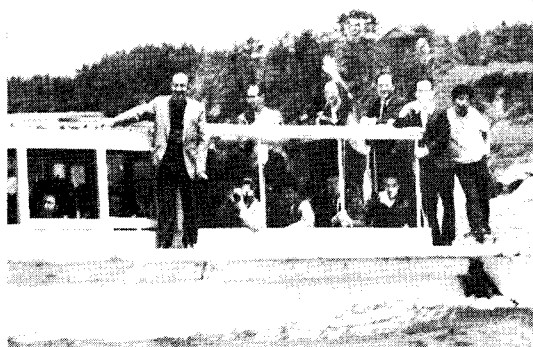
片山津温泉にて一泊、バス旅行に出発を前にして一同記念撮影。
北陸グランドホテルの庭。後ろに広がるのは柴山湯。



北陸の旅は寺めぐりの旅。先づ最初の本願寺
吉崎御坊に詣でる。田辺顧問はビートルズス
タイルの若い僧から何やら説明をきく。寺内
には肉附の面の由来を語るジオラマと称する
花屋敷のような陳列物がある。



「加賀の源平太鼓」。宴会のアトラクションとしては
異色あるもの。
(アカデミア・ミュージック、平岩氏撮影)



好天に恵まれ日本海の紺青の冴えも一しほ。終日お骨
折りの渡辺委員長ものせ東尋坊の奇岩の間を遊覧船は
ゆく。

外国の書物など

— S 君 へ の 手 紙 —

藤 沢 俊 雄

音楽のお好きなあなたをご存知でしょう。J. F. Burgmüller (1806—1874) の練習曲 (Op. 100.)。小さい美しいあの25曲は、バイエルの教則本の中程ぐらいからのテクニクなので、昔から日本版もあり、どこでも手にはいります。ところが同じ作曲家の Op. 109, Op. 105 となると、少しむづかしく、Op. 100. ほどにはポピュラーでないせいか、つい1~2年前までは、外国から取りよせなければなりません。ショパンは彼のエチュードが少々むづかしすぎるので、女のお弟子さんたちのために、もっとやさしいエチュード集を作りたいと考えたそうですが、果しませんでした。代りにブルクミュラーが作った——そんな感じのする曲がいくつか、この105, 109にはあるのです。最近、日本の出版界も活況で、この両曲集とも日本版がでています。

楽譜だけではありません。ひところ海賊版でさわがれた科学の専門書なども、需要の多いものは、アジア版といって、正規の手続きをふんだ複製版がどんどん出されて、まことに便利になったものです。

私も若いころ、少しまとまった小遣いをもらって洋書専門店にはいるときは、あらかじめ、どこかで小用をたしたものでした。いわゆる武者ブレイがくるのです。いまはもう年で、そんなこともなく、また、読みにくい背の横文字を眼鏡をかけたり、はずしたり、首をかきけたりしながら、丹念に見てまわるのもおっくうで、万事、手近かのもので間に合わせる事が多くなりました。考えれば少々淋しいことです。

しかし、まだすべて洋書なしですますわけにもゆきません。たとえば医書のインデックス。Heilmeyer の内科書は、1355頁の本文に、インデックスが126頁(約9.3%)もあります。同じ規模の和書だと、せいぜい2~3~4%です。これではいそぎの調べごとについて洋書の方を用いるわけです。

楽譜も、少し需要の少ないものは日本では手にはいりません。先年、西独に行ったとき、ピアノを習いはじめた知人の娘さんのおみやげに、Lichner という人の Bunte Blumen (Op. 111)、Kleine Blumen, kleine Blätter

(Op. 64) を求めました。滞在したカールスルーエの閑静な小さな店でしたが、一冊の方は、たちどころに整理棚から出してくれました。もう一冊は、いま店にないが、すぐ取りよせるといいます。アルゴイ旅行、そのあと、ちよつとボンへ行き、日本へ帰る前にパリに行こうという忙しいときでしたが、まあよろしくたのむとおきました。2泊3日のそのアルゴイの旅から帰ってみたら、ちゃんと、ととのえられていました。ほんの10頁、150円ほどのものです。ドイツでドイツの楽譜を買うのですから、あたり前の話でしょうが、日本でも、こういう小さなものも気軽に相談し、注文できるような雰囲気がある洋書専門店にはことに望まれます。

このあいだ、あなたをお訪ねして、M商會をのぞいたとき、ふとみつけた Schwarz-Bildbücher (Han Schwarz Verlag, Bayreuth) の Bonn や Köln や Bodensee という小冊子、いずれもモノクローム写真を40枚づつ収めた300円たらずのものですが、日本の同種類のもの、H社のカラーブックスなどにくらべると、ずっとスッキリしています。ゆくりなくも、あのドイツの、いわゆる sauber な国土や町のたたずまいを思いおこしました。日本のものはゴタゴタと多彩で、田舎風の親切はよく判るのですが、いま一步の洗練に欠けています。たぶん国中に、したがって書物のなかにも余分なものが多すぎるのでしょう。

パリはもちろん、ボンでもカールスルーエでも、滞在したところでは、必らず、その都市地図 (Stadtplan) を求めてきました。これがまた実によくできています。地図自体の印刷のできばえはもとよりですが、大抵、別とじて付いている町名・名所旧蹟索引が、科学書のインデックス同様、まことに用意周到に作られています。日本では、東京や京都でさえ、まだこのような地図を見たことがありません。

戦後、あらゆる点で、わが国も進歩しています。しかし、出版物についても、外国に学ぶべきことはまだたいへん多いように思います。

(筆者は国立横浜病院内科医長)

外国の書物など

— S 君 へ の 手 紙 —

藤 沢 俊 雄

音楽のお好きなあなたをご存知でしょう。J. F. Burgmüller (1806—1874) の練習曲 (Op. 100.)。小さい美しいあの25曲は、バイエルの教則本の中程ぐらいからのテクニクなので、昔から日本版もあり、どこでも手にはいります。ところが同じ作曲家の Op. 109. Op. 105 となると、少しむづかしく、Op. 100. ほどにはポピュラーでないせいか、つい1~2年前までは、外国から取りよせなければなりません。ショパンは彼のエチュードが少々むづかしすぎるので、女のお弟子さんたちのために、もっとやさしいエチュード集を作りたいと考えたそうですが、果しませんでした。代りにブルクミュラーが作った——そんな感じのする曲がいくつか、この105、109にはあるのです。最近、日本の出版界も活況で、この両曲集とも日本版がでています。

楽譜だけではありません。ひところ海賊版でさわがれた科学の専門書なども、需要の多いものは、アジア版といって、正規の手続きをふんだ複製版がどんどん出されて、まことに便利になったものです。

私も若いころ、少しまとまった小遣いをもらって洋書専門店にはいるときは、あらかじめ、どこかで小用をたしたものでした。いわゆる武者ブレイがくるのです。いまはもう年で、そんなこともなく、また、読みにくい背の横文字を眼鏡をかけたり、はずしたり、首をかきげたりしながら、丹念に見てまわるのもおっくうで、万事、手近かのもので間に合わせるが多くなりました。考えれば少々淋しいことです。

しかし、まだすべて洋書なしですますわけにもゆきません。たとえば医書のインデックス。Heilmeyer の内科書は、1355頁の本文に、インデックスが126頁(約9.3%)もあります。同じ規模の和書だと、せいぜい2~3~4%です。これではいそぎの調べごとについて洋書の方を用いるわけです。

楽譜も、少し需要の少ないものは日本では手にはいりません。先年、西独に行ったとき、ピアノを習いはじめた知人の娘さんのおみやげに、Lichner という人の Bunte Blumen (Op. 111)、Kleine Blumen, kleine Blätter

(Op. 64) を求めました。滞在したカールスルーエの閑静な小さな店でしたが、一冊の方は、たちどころに整理棚から出してくれました。もう一冊は、いま店にないが、すぐ取りよせるといいます。アルゴイ旅行、そのあと、ちょっとボンへ行き、日本へ帰る前にパリに行こうという忙しいときでしたが、まあよろしくたのむとおきました。2泊3日のそのアルゴイの旅から帰ってみたら、ちゃんと、ととのえられていました。ほんの10頁、150円ほどのものです。ドイツでドイツの楽譜を買うのですから、あたり前の話でしょうが、日本でも、こういう小さなものも気軽に相談し、注文できるような雰囲気は洋書専門店にはことに望まれます。

このあいだ、あなたをお訪ねして、M商會をのぞいたとき、ふとみつけた Schwarz-Bildbücher (Han Schwarz Verlag, Bayreuth) の Bonn や Köln や Bodensee という小冊子、いずれもモノクローム写真を40枚づつ収めた300円たらずのものですが、日本の同種類のもの、H社のカラーブックスなどにくらべると、ずっとスッキリしています。ゆくりなくも、あのドイツの、いわゆる sauber な国土や町のたたずまいを思いおこしました。日本のものはゴタゴタと多彩で、田舎風の親切はよく判るのですが、いま一步の洗練に欠けています。たぶん国中に、したがって書物のなかにも余分なものが多すぎるのでしょう。

パリはもちろん、ボンでもカールスルーエでも、滞在したところでは、必らず、その都市地図 (Stadtplan) を求めてきました。これがまた実によくできています。地図自体の印刷のできばえはもとよりですが、大抵、別とじて付いている町名・名所旧蹟索引が、科学書のインデックス同様、まことに用意周到に作られています。日本では、東京や京都でさえ、まだこのような地図を見たことがありません。

戦後、あらゆる点で、わが国も進歩しています。しかし、出版物についても、外国に学ぶべきことはまだたいへん多いように思います。

(筆者は国立横浜病院内科医長)

議会制民主主義について

— 参院戦を終って —

今回の参議院選挙での一つの大きな特徴は、所謂タレントが非常に多くの票を得て当選したことであろう。タレントとは何ぞやが問題であろう。私はここでは芸能人という意味にしておく。即ち「テレビとかラジオに出てその収入で生活を維持している人」と解する。そこで石原慎太郎、大松博文及び今東光はこの範疇に入らないので、ここではタレントとして取扱わない。然し横山なんかいうのは完全な寄席芸人である。どうして彼が66万票以上もとったのだろうかということが問題になる。多くの人は、「全くない。人を馬鹿にしている。」という。又、「これは日本人の政治意識の低さを示すものである。」といっている。私は議会制民主主義をとる以上、その進歩過程に於てこの現象はごくあたりまえのことと思っている。

大体、民主主義、選挙というものは一種の愚民政治である。佐藤総理、勝間田委員長の一票と、どこかのゴロツキ、町のアンチャンと全く同じ一票だということ自体がおかしいのである。ほんとうは独裁専制政治がいいにきまっている。頭のよいしっかりした人に思うようにやってもらうことの方が、寄せ集め制度よりはるかによいのはきまり

きったことなのだ。だが、それには一つの条件がある。独裁者が立派な人物であるということだ。変な人物が独裁者になったら大変なことになる。ひよっとすると、埼玉県駅には急行が全部止ってしまうかもしれない。新幹線の駅が増えすぎるかもしれない。この位ならまあいい。場合によっては本を全部焼いてしまったり、或る人種をその国から追い払ってしまうかもしれない。事実、歴史上にこのような残酷な専政者がいたではないか……。ということとは独裁者としての適任者を採ることは非常に困難なのだ。だからだ。多少変なことがあるかもしれない、納得がゆかないことも少しはあり得る、だけど一般大衆を全部平均すればまああの線になるというのが議会制民主主義の考え方の基本なのである。そこで独裁国と違い、決論がなかなかでない。民主主義というものは Slow なのが本質である。又、馴れるまで時間がかかって変な現象が起ることはあたりまえなのだ。今度のタレント当選問題はここにその本質がある。民主主義はよくない。だが Others are so much worse である。(洋販 渡辺)

会 員 紹 介

文字通り海外学術文献の学界への奉仕で一貫

株式会社 国 際 書 房

昭和16年、協会設立当時の名称、海外出版物輸入同業会が発足した時の理事で、現在でも理事をしているのは同社社長服部正高氏唯一人である。初代服部春一氏が同社を創立したのは1920年10月、神戸市元居留地江戸町の一角であった。現社長が最初に当面したのはアスピナルのマリタイム・ロー・レポートのバックナンバーの輸入で、同社は現在でもバックナンバーの供給で名を知られている。又一時ゲーテの貴重な古文書を大量に我が学界人に紹介したが、古い貴重な文献の取扱者としては現在でも知られている。1921年頃から当時越中島にあった、東大の航空研究所に図書の納入をしているが、現在でも宇宙航空研究所は同社の最大顧客の一、先日学士院賞を貰った元の所長さんを社長が委員をしている会合に講師として招待したことがある由、草創期の顧客では、東京から小泉信三先生が時々来訪されたり、京都から恒藤恭先生が頻繁に来られた記憶があるとか。同社は現在でも大学の教授方との連絡は特に深い、大正11年に東京に支店を設け昭和2年に現在の地に移った。大体学術図書の大学、研究所への納入が同社の48年間一貫した主要事業になっている。尚1960年からオランダのエクゼプタ、メディカ、ファンデーションの依頼を受けて、日本の医学文献の英文抄録を海外に紹介したが其の抄録数は四万四百を越え、日本医学の海外紹介に大きい役割を果たした。

洋書こぼれ話

「震災から大正の終りまで」(その三)

中村春太郎談

私は大正四年から福岡、仙台と支店廻りをしていました。大正十二年三田出張所開設と同時に所長として東京へ戻ってきました。この年は暑い年でした。総理大臣の加藤友三郎さんが亡くなって後継内閣が出来ないとき、関東大地震に襲われました。地震につづく火災で十数万の人命と数十万の家が失われ、東京の下町と横浜の大部分が壊滅してしまいました。

九善は、地震の被害はそれ程でありませんでした。火事のため、旧い方々にはお馴染だった入口に手長足長の像のある四階建の赤煉瓦の社屋と、数万の書籍を一挙に焼いてしまいました。下町の焼野原に立つとぼつんぼつんと少しばかりのコンクリートの建物が残っていて、それが目印となって普段遠いと思っていた所が案外近いのにびっくりしたものです。そのうち焼野原の中にぼつぼつ安普請の家が建ち始め、いつとはなしにブラックの街並になりました。

九善では、焼けるとすぐ本部を駒込の工場へ移し、当座の小物を支店から取寄せましたが、外国からの本は横浜の波止場がやられ荷上げが出来なくなったので、仕入関係の殆どが半年程神戸へ出かけました。此の時永年取引していた Publisher から大変親切にされました。今の人がよく戦前戦後の変り方を比較するように、旧い人は震災前震災後といってその変化を比較したものです。それほど東京は激しく変りました。この震災で昔の下町のしっとりした味は殆ど失われてしまいました。日本橋の店はそれまで店と奥とは一緒でしたが、これを機会に店は日本橋に家庭は郊外にというところが多くなりました。サラリーマンがもてはやされたのもこの頃からで、生活の中に洋式のものがどんどん取入れられ、化粧道具のコンパクトなども広く使われ始めました。耳かくしなどという髪が流行り、一部では断髪の女性も現われモダンボーイ・モダンガール(毛断ガール)、略してモボ・モガの言葉がさかんに使われたのも、この頃から昭和のはじめにかけてです。

ラジオが芝浦の試験放送所から愛宕山の放送局へ移り、全国にラジオ熱がはやりました。最初は真空管のラウドスピーカー付きのものは高価で、一般の人は中中手がでず、専らレシーバーを使う鉱石検波式というやつです。御蔭様で Radio に関する洋書が方々から要求されました。

話は少しもどりますが、明治の終りから大正の末迄或は昭和の始めまでありましたか 26 parts から 40 parts 位で完結する簡単な解説記事つきの美しい写真が沢山のっている Series ものが刊行されました。1 part 40 銭位で二週間毎に出版され、何 Parts かたまと表紙を買って製本出きる仕組になっておりました。内容も良いし手軽に買ったので大変好評でした。内容は少し違いますが、H. G. Wells—Outline of History や I. See. All. (写真百科辞典) も同様な方法で出版されたもので、今記憶に残っているものを並べますと次のようなものがありました。

The Wonders of The World.28 parts
Marvelous of the Univers.about 24 parts
Customs of the World.26 parts
Wonders of Land and Sea.24 parts
Hammerton, J. A (Ed.by) Peoples of all Nations.
Hutchinson's Story of the British Nations.
Talbot's Electrical Wonders of the World.
Wonders of Animal Life.

戦時とまっていたドイツの本も戦後になるとぼつぼつオランダなどを通し輸入されました。やがてドイツからもはいってきましたが、マルクが下るにつれ本の価も下り、医書など随分よく売れました。マルクの下落の際ドイツにいた日本の留學生が豪奢な生活をしたり、本を買ひ集めたりした話が伝えられましたが、大正十三年マルクが安定すると昔語りとなりました。

同じ年にアメリカで排日法案が通り、日米の間が急に険悪となって英国の軍事評論家 Bywater—The Great Pacific War. A History of the American Japanese Campaign of 1931-33 がよく読まれました。

戦争が終って欧州が回復に向うと日本の輸出は段々むづかしくなる一方、震災の為復興資材の輸入が一時に増え、折角溜めた正貨がどんどん流失して為替相場はさがってゆきました。景気は、一時復興景気があらわれましたが、すぐ消えて沈滞し、それにつれ世相も不安となり大正十五年は暗い年でした。その年の12月25日に大正天皇が崩御されて昭和と改元されました。日本を震撼させた金融大恐慌は目の前に迫ってきました。

海外ニュース

CBS が W.B. Saunders Co. を買収

アメリカの三大放送局の一つ The Columbia Broadcasting System は、フィラデルフィアの著名な医学書の出版社 W. B. Saunders Company の資産と事業を買収し、自己の系列下に収めた。

Saunders 社は、今後 CBS/Holt Group の一員として出版を続けることになるが、このグループは、書籍、雑誌の出版ばかりでなく、学校向の教材などにも進出をはかることになっている。

(Publishers Weekly, 6月24日号より)

フランクフルト書籍見本市

恒例のフランクフルト書籍見本市は9月19日より24日にかけて開催の予定であるが、今年は、日本を含めて56カ国の約3,000社の出版社が参加する予定（去年は2,871社）である。このうちドイツの出版社は約900社で、外国の出版社は約2,100社である。すでに陳列場の割り振りや、諸行事の予定なども発表されている。

(“Börsenblatt”, 6月25日号より)

——紀伊国屋書店提供——

NEWS欄

- 英国 Pergamon 社の Deputy Chairman, Mr. C. T. Clark 7月上旬来日。
- 米国 Johnson Reprint 社の Assistant Vice-President, Mr. Frederick Rappaport 7月上旬来日。
- Springer Verlag, New York はこのほど矢沢静子氏を日本代表に任命した。

文化厚生委員会8月スケジュール

才2、才4金曜日午後6時より日本出版貿易において囲碁同好会開催。

計 報

川上福三郎氏

大雅貿易株式会社 東京支社長

予て病氣療養中のところ去る6月5日永眠されましたので謹んで哀悼の意を表します。

会 員 紹 介

キリスト教出版社として日本の精神文化に貢献

株式会社 教 文 館

教文館は明治18年(1885)キリスト教の一教派であるメソジスト監督教会の宣教師団により、キリスト教文書伝導を目的として創立された。大正12年(1923)米国宣教師ウエンライト博士主宰の日本基督教興文協会と合併し、日本における超教派共同のキリスト教出版社として再発足することとなった。大震災後、教文館発展のためウエンライト博士は帰米し、資金を集め、同資金をもって昭和8年現在のビルディングを完成した。同時に従来組織を株式会社へ改組した。現在は会長北村徳太郎氏、社長鶴飼香吉氏のもとに120名の社員が業務にはげんでいる。洋書の取扱いについて、創立当時は基督教神学を中心に広く人文科学全般を扱っていたが、戦後更に社会科学を加え、人文・科学兩分野における特色ある専門店として著名である。同社の定款の前文には「営業を通じてキリストの栄を現わすことを方針として運営されねばならない」とうたわれている。将来の同社の進路もこの指針によって貫かれるであろう。

(取材の都合で、原書店・北沢本店両社の紹介が後れておりますが、逐次掲載の予定です——係)

